

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-245038

(43)Date of publication of application : 30.08.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/28
 G10L 13/00
 G10L 15/00
 H04Q 7/38
 H04M 3/42
 H04M 3/527

(21)Application number : 2001-044535

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 21.02.2001

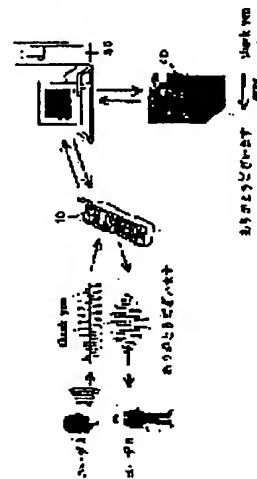
(72)Inventor : RO AKIRA

(54) MULTILANGUAGE TRANSLATION SYSTEM BY PORTABLE TERMINAL EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To realize communication among the unspecified number of users different in their mother languages by portable terminal equipment such as PHS(Personal Handyphone System) and a portable telephone.

SOLUTION: When a user A and a user B communicate by using English and Japanese, the user A inputs English, 'Thank you' in speech to the portable telephone 10. An inputted speech content is transmitted to a host computer 30 through a network. The host computer 30 transmits the received speech content to a translation server 40. The translation server 40 recognizes the received speech content in speech, converts it into text information and translates converted text information into Japanese. A translated content is converted into speech by speech synthesis and is transmitted to the host computer 30 from the translation server 40. The host computer 30 transmits the received content to the portable telephone 10 and the user B can hear 'Thank you' in Japanese from the portable telephone 10.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

Searching PAJ

페이지 2 / 2

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-245038
(P2002-245038A)

(43)公開日 平成14年8月30日(2002.8.30)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	キーワード(参考)
G 0 6 F 17/28		C 0 6 F 17/28	Z 5 B 0 9 1
			V 5 D 0 1 6
G 1 0 L 13/00		H 0 4 M 3/42	Z 5 D 0 4 6
15/00		3/527	5 K 0 1 6
H 0 4 Q 7/38		G 1 0 L 3/00	E 5 K 0 2 4
審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 9 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2001-44535(P2001-44535)

(22)出願日 平成13年2月21日(2001.2.21)

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 呂 彬

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

(74)代理人 100079843

弁理士 高野 明近 (外2名)

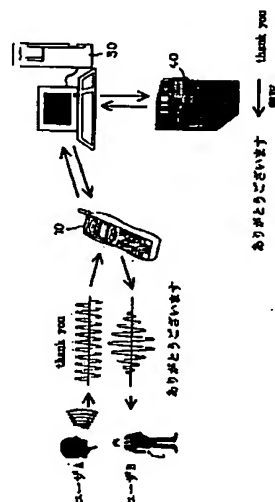
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯端末装置による多国語翻訳システム

(57)【要約】

【課題】 PHSや携帯電話などのような携帯端末装置によって、不特定多数の母国語の異なるユーザの間で、コミュニケーション可能とする。

【解決手段】 ユーザAとユーザBが、それぞれ英語と日本語を使って交流する場合、まず、ユーザAが、英語“thank you”を携帯電話10に音声入力する。入力された音声内容をネットワークを介し、ホストコンピュータ30に送信する。ホストコンピュータ30は、さらにネットワークを介し、受信した音声内容を翻訳サーバ40に送信する。翻訳サーバ40は、受信した音声内容を音声認識し、テキスト情報に変換し、変換したテキスト情報を日本語に翻訳する。翻訳された内容は音声合成によって音声に変換され、音声情報として翻訳サーバ40からホストコンピュータ30に送信される。さらに、ホストコンピュータ30は、受信した内容を携帯電話10に送信し、ユーザBは携帯電話10から音声で“ありがとうございます”を聞くことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯端末装置、ネットワークを介し前記携帯端末装置と接続している各種情報の提供を制御するホストコンピュータ、及び、ネットワークを介し前記ホストコンピュータと接続している翻訳サーバから構成されている携帯端末装置による多国語翻訳システムにおいて、前記翻訳サーバが、前記携帯端末装置によって入力された情報をユーザ所望の言語に翻訳し、さらにユーザの認識可能な形式の情報に変換し、ユーザに提供する機能を持つことを特徴とする携帯端末装置による多国語翻訳システム。

【請求項2】 前記翻訳サーバは、通信手段、音声認識手段、音声合成手段、及び、言語翻訳手段を持つことを特徴とする請求項1に記載の携帯端末装置による多国語翻訳システム。

【請求項3】 前記携帯端末装置は、通信手段、情報入力手段、情報出力手段、入力された情報の言語指定手段、及び、ユーザ所望の出力情報言語指定手段を具備し、前記情報入力手段によって情報を入力し、さらに入力された情報の言語種類と出力情報の所望言語種類を設定し、前記情報入力内容と設定された言語種類情報をネットワークを介し、前記ホストコンピュータによって、前記翻訳サーバに送信し、前記翻訳サーバが受信した入力情報を指定された言語に翻訳し、翻訳された情報を前記ホストコンピュータによって、前記携帯端末装置に送信し、前記携帯端末装置の情報出力手段によって出力することを特徴とする請求項1又は2に記載の携帯端末装置による多国語翻訳システム。

【請求項4】 前記携帯端末装置の情報入力手段は、音声による入力手段であって、入力された音声情報を前記翻訳サーバの音声認識手段によって認識し、テキスト情報に変換することを特徴とする請求項3に記載の携帯端末装置による多国語翻訳システム。

【請求項5】 前記携帯端末装置の情報入力手段は、文字による入力手段であることを特徴とする請求項3に記載の携帯端末装置による多国語翻訳システム。

【請求項6】 前記携帯端末装置の情報出力手段は、音声による出力手段であって、前記携帯端末装置によって入力された情報を前記翻訳サーバによってユーザ所望の言語に翻訳した後、翻訳された内容を前記翻訳サーバの音声合成手段によって音声に変換し、前記携帯端末装置の音声出力手段によって出力することを特徴とする請求項3に記載の携帯端末装置による多国語翻訳システム。

【請求項7】 前記携帯端末装置の情報出力手段は、文字表示による出力手段であって、前記携帯端末装置によって入力された情報を前記翻訳サーバによってユーザ所望の言語に翻訳した後、テキスト情報として前記携帯端末装置に送信し、前記携帯端末装置の文字表示出力手段によって出力することを特徴とする請求項3に記載の携帯端末装置による多国語翻訳システム。

【請求項8】 請求項1乃至7のいずれかに記載の各手段の全部又は一部の機能を実現するプログラムを格納していることを特徴とするコンピュータによって読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、不特定多数の母国語の異なるユーザの間で、PHSや携帯電話などのような携帯端末装置によってコミュニケーションできるような携帯端末装置による多国語翻訳システムに関するもので、例えば、ユーザが自分の母国語と異なる出先で、PHSや携帯電話などのような携帯端末装置を利用して、現地の人たちとコミュニケーションする時等に使用して好適なものである。

【0002】

【従来の技術】従来、携帯翻訳装置について、いくつかの提案がされている。例えば、特許第3034773号に記載されている電子通訳機では、利用者が携帯翻訳装置に音声を入力し、入力された音声を携帯翻訳装置本体に格納されている音声認識用辞書を参照して認識し、さらに認識された入力内容を携帯端末装置本体に格納されている翻訳用辞書を参照して翻訳し、翻訳された内容をまた音声に変換して出力するようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の携帯翻訳装置、例えば、特許第3034773号に記載されている電子通訳機では、音声認識用と翻訳用辞書が全部携帯端末装置本体に格納されていた。しかし、より正確にしかも多種の言語間の翻訳できるようにしようとすると、翻訳用辞書の規模を大きくする必要があるが、携帯端末装置に各辞書を格納するにはメモリ容量に限界があるので、大規模の辞書を格納するのは、とても困難である。

【0004】本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたもので、携帯端末装置単体だけで翻訳機能を実現するのではなく、ネットワークを介し、携帯端末装置を各種の情報の提供を制御するホストコンピュータに接続させ、さらに、このホストコンピュータに接続される翻訳サーバを設け、音声認識、音声合成と翻訳機能を実現するための各辞書データを該翻訳サーバに格納し、該翻訳サーバによって、音声認識、音声合成と翻訳機能を実現するようにすることで上記の不都合点を解決するようにしたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、携帯端末装置、ネットワークを介し前記携帯端末装置と接続している各種情報の提供を制御するホストコンピュータ、及び、ネットワークを介し前記ホストコンピュータと接続している翻訳サーバから構成されている携帯端末装置による多国語翻訳システムにおいて、前記翻訳サーバが、前記携帯端末装置によって入力された情報をユーザ

所望の言語に翻訳し、さらにユーザの認識可能な形式の情報に変換し、ユーザに提供する機能を持つことを特徴としたものである。

【0006】請求項2の発明は、請求項1の発明において、前記翻訳サーバが、通信手段、音声認識手段、音声合成手段、及び、言語翻訳手段を持つことを特徴としたものである。

【0007】請求項3の発明は、請求項1又は2の発明において、前記携帯端末装置は、通信手段、情報入力手段、情報出力手段、入力された情報の言語指定手段、及び、ユーザ所望の出力情報言語指定手段を具備し、前記情報入力手段によって情報を入力し、さらに入力された情報の言語種類と出力情報の所望言語種類を設定し、前記情報入力内容と設定された言語種類情報をネットワークを介し、前記ホストコンピュータによって、前記翻訳サーバに送信し、前記翻訳サーバが受信した入力情報を指定された言語に翻訳し、翻訳された情報を前記ホストコンピュータによって、前記携帯端末装置に送信し、前記携帯端末装置の情報出力手段によって出力することを特徴としたものである。

【0008】請求項4の発明は、請求項3の発明において、前記携帯端末装置の情報入力手段が、音声による入力手段であって、入力された音声情報を前記翻訳サーバの音声認識手段によって認識し、テキスト情報に変換することを特徴としたものである。

【0009】請求項5の発明は、請求項3の発明において、前記携帯端末装置の情報入力手段が、文字による入力手段であることを特徴としたものである。

【0010】請求項6の発明は、請求項3の発明において、前記携帯端末装置の情報出力手段が、音声による出力手段であって、前記携帯端末装置によって入力された情報を前記翻訳サーバによってユーザ所望の言語に翻訳した後、翻訳された内容を前記翻訳サーバの音声合成手段によって音声に変換し、前記携帯端末装置の音声出力手段によって出力することを特徴としたものである。

【0011】請求項7の発明は、請求項3の発明において、前記携帯端末装置の情報出力手段が、文字表示による出力手段であって、前記携帯端末装置によって入力された情報を前記翻訳サーバによってユーザ所望の言語に翻訳した後、テキスト情報として前記携帯端末装置に送信し、前記携帯端末装置の文字表示出力手段によって出力することを特徴としたものである。

【0012】請求項8の発明は、請求項1乃至7のいずれかに記載の各手段の全部又は一部の機能を実現するプログラムを格納していることを特徴とするコンピュータによって読み取り可能な記録媒体である。

【0013】

【発明の実施の形態】図1は、本発明による携帯端末装置に多国語翻訳システムの全体図で、携帯端末装置10としては、PHSや携帯電話などが考えられる。通信ネ

ットワークは、通信制御基地局20と各基地局21によって構成されている。携帯端末装置10は、前記通信ネットワークを介し、ホストコンピュータ30に送信したり、該ホストコンピュータ30から受信したりする。また、ホストコンピュータ30は、専用回線によって通信制御基地局20、翻訳サーバ40と接続されている。翻訳サーバ40は、携帯端末装置10によって入力された情報をユーザ所望の言語に翻訳し、ユーザに提供する。

【0014】図2は、本システムに用いる携帯端末装置10の構成図で、該携帯端末装置10は、表示部11、テキスト入力部12、音声入力部13、音声出力部14、通信部15、記憶部16、制御部17等から構成される。表示部11は、PHSや携帯電話の液晶画面などが考えられる。本システムの操作メニューや、文字による入出力を行う場合の入出力内容は、この表示部11によって表示される。テキスト入力部12は、PHSや携帯電話の入力キーによって実現される。この入力キーは、数字と英語アルファベットを入力可能な入力キーである。音声入力部13は、PHSや携帯電話内蔵のマイクによって実現される。音声出力部14は、PHSや携帯電話内蔵のスピーカーによって実現される。通信部15は、前記通信ネットワークを介し、ホストコンピュータ30との情報のやり取りを実現する。記憶部16は、プログラムやデータを格納する記憶媒体から構成される。この記憶媒体は、磁気的、あるいは光学的な記憶媒体である。記憶部16に格納されているプログラムは、表示機能、情報入出力制御機能、通信制御機能を持つプログラムである。また、記憶部16に格納されているデータは、操作メニュー表示データである。制御部17は、記憶部16に格納している本システムを実現する制御プログラム、操作メニューデータをロードし、制御プログラムを実行し、表示部11による該当表示情報の表示、音声または文字による入出力制御と、通信部15による送受信制御を実現する。

【0015】図3は、翻訳サーバ40の構成例を説明するための図で、図3に示すように、翻訳サーバ40は、通信部41、データ格納部42、制御部43から構成される。通信部41は、電話回線の場合では、モデムであって、ISDN回線の場合では、ISDN回線アダプタである。通信部41は、ネットワークを介し前記ホストコンピュータ30と接続され、データの送受信機能を持っている。

【0016】データ格納部42は、プログラムやデータを格納する記憶媒体、例えば、磁気的、あるいは光学的な記憶媒体で、この記憶媒体は、辞書検索テーブル42₁、翻訳サーバ40の機能を実現するための制御プログラム42₂、音声認識用辞書部42₃、音声合成用辞書部42₄と翻訳用辞書部42₅が格納されている。なお、辞書検索テーブル42₁は、データ格納部42に格納されている各音声認識用辞書42₃、音声合成用辞書4

2₄、翻訳用辞書4 2₅の識別情報を記述するテーブルである。

【0017】図4は、辞書検索テーブル4 2₁の例を示す図で、該テーブルの1列目は、辞書識別IDであって、“SR” “SS” “TR”は、それぞれ“音声認識”、“音声合成”、“翻訳”を表している。テーブルの2列目は、前記データ格納部4 2に格納されている各辞書の辞書名であって、“SR” “SS” “TR”に属している各辞書は、それぞれ各音声認識用辞書部4 2₃、音声合成用辞書部4 2₄、翻訳用辞書部4 2₅に格納されている。テーブルの3列目は、各辞書の言語情報である。

【0018】図3において、制御プログラム4 2₂は、翻訳サーバ4 0の通信機能、音声認識機能、音声合成機能及び翻訳機能を実現するプログラムである。制御部4 3は、メモリにデータ格納部4 2に格納されている制御プログラム4 2₂をロードし、該制御プログラム4 2₂を実行することによって、翻訳サーバ4 0の通信機能、音声認識機能、音声合成機能及び翻訳機能を実現する。

【0019】図5は、本発明によるシステム全体の音声による入出力の実行例で、ユーザAとユーザBが、それぞれ英語と日本語を使って交流する時の実行例である。まず、ユーザAが、英語“thank you”を携帯電話1 0に音声入力する。入力された音声内容をネットワークを介し、ホストコンピュータ3 0に送信する。ホストコンピュータ3 0は、さらにネットワークを介し、受信した音声内容を翻訳サーバ4 0に送信する。翻訳サーバ4 0は、受信した音声内容を音声認識し、テキスト情報に変換する。さらに、変換したテキスト情報を日本語に翻訳する。ここでは、“thank you”が“ありがとうございます”に翻訳される。そして、翻訳された内容が音声合成によって音声に変換され、音声情報として翻訳サーバ4 0からホストコンピュータ3 0に送信される。さらにホストコンピュータ3 0は、受信した内容を携帯電話1 0に送信し、ユーザBは携帯電話1 0から音声で“ありがとうございます”を聞くことができる。

【0020】図6は、携帯端末装置による入出力の実行例、図7は、実行時の携帯端末装置操作パネルの表示例である。まず、携帯端末装置1 0は、操作メニュー選択待ち状態であって（S01）、操作パネルが図7の画面表示例1のようになり、操作メニュー一番目の“入力”の横に現時点の翻訳パターンが表示される。この実行例では、英語から日本語に翻訳するという翻訳パターンになっている。

【0021】次に、該当操作メニューを選択する（S02）。翻訳パターンを変更したい場合（S03）、まず、順番に“2 入力言語の設定”と“3 出力言語の設定”を入力キーで選択し、ユーザ所望の翻訳パターンを設定する。“2 入力言語の設定”あるいは“3 出力言語の設定”を選択すると、操作パネルが図7の画面

表示例2のようになる。もし、ユーザ所望の言語が操作パネルに表示されていない場合、入力キー“5”を押し、次のページが表示され、図7の画面表示例3のようになる。ここで、入力キー“5” “6”を押すことによって、前後のページに行くようになっている。また、言語を設定するのは、該当言語の番号をキー入力することによって実現される。該当番号をキー入力にすると、操作パネル画面表示は、自動的に図7の画面表示例1に戻る。

【0022】操作メニュー“1 入力（英語→日本語）”を入力キーで選択した場合、操作パネルが図7の画面表示例4のようになる。ここで音声または文字による入力ができる（S04）。入力する前に、まず、“#”キーを押し、携帯端末装置が入力待ち状態になる。音声による入力を行う場合、携帯端末装置内蔵のマイクに向かって、発話することによって実現される。また、文字による入力を行う場合、キー入力によって実現される。ここで文字入力は、英語アルファベット入力となる。入力終了後、“#”キーを押すと、入力された内容と翻訳パターンがホストコンピュータに送信される（S05）。送信データの構造は、図8に示すように、先頭の32バイトは、翻訳パターン情報であって、例えば、“英語→日本語”の場合、最初の16バイトに“English”に格納され、その次の16バイトに“Japanese”と格納される。翻訳パターンの次に入力内容本体となる。そして、翻訳サーバによって翻訳された内容をホストコンピュータから受信されると（S06）、音声または文字によって出力する（S07）。操作パネルが図7の画面表示例5のようになる。“#”キーを押すと、翻訳内容が出力される。ここで、音声による出力は、携帯端末装置内蔵のスピーカによって実現される。また、文字による出力は、操作パネルの画面表示によって実現される。文字による表示は、英語アルファベット表示である。続けて入力したい場合、入力キー“1”を押すと、操作パネルが図7の画面表示例4のようになり、次の入力を行う。入力を終了したい場合（S08）、入力キー“0”を押し、操作パネルが図7の画面表示例1のようになり、携帯端末装置が操作メニュー選択待ち状態に戻る（S09）。

【0023】図9は、翻訳サーバ側の実行例である。まず、翻訳サーバは受信待ち情報になっている（S10）。ホストコンピュータから図8に示したようなデータを受信すると（S11）、受信データを解析し、音声認識、音声合成と翻訳用の各辞書をセットする（S12）。解析によって、前記受信データを先頭の翻訳パターン情報と入力データという二つの部分に分離させ、翻訳パターンを識別する。例えば、“英語→日本語”の場合、各辞書は、それぞれ英語音声認識用辞書、“英語→日本語”翻訳用辞書、日本語音声合成用辞書になる。次に、受信した入力データ本体を音声認識し、音声情報を

テキスト情報に変換する(S13)。例えば、前記携帯端末装置によって、“thank you”を音声入力した場合、音声認識によって、音声の入力情報がテキスト情報の“thank you”に変換される。そして、テキスト情報をセットされた翻訳辞書を参照し、ユーザ所望の言語に翻訳する(S14)。例えば、翻訳パターンが“英語→日本語”の場合、“thank you”がテキスト情報の“ありがとうございます”に翻訳される。その次に、翻訳されたテキスト情報を音声合成によって、音声に変換する(S15)。さらに、変換された音声データを、ネットワークを介し、ホストコンピュータに送信し(S16)、翻訳サーバは受信待ち状態に戻る(S17)。

【0024】また、前記携帯端末装置によって、文字入出力する場合、入出力はともにテキスト情報であるため、音声処理をする必要がないので、図9の音声認識(S13)と音声合成(S15)の部分が省略されることになる。

【0025】

【発明の効果】従来の携帯翻訳装置は、翻訳用辞書、さらに、音声入出力の場合、音声認識用辞書と音声合成用辞書がともに携帯翻訳装置本体に格納するようになっている。翻訳の正確性に対応できる言語の多様性を考えると、より大語彙かつ多く種類の言語辞書と必要になる。しかし、携帯翻訳装置本体の格納可能なメモリ容量に限界があるので、大規模の辞書を全部携帯翻訳装置に格納するのは、とても困難である。

【0026】本発明による多国語翻訳システムは、携帯端末装置とネットワークを介し該携帯端末装置と接続している各種情報の提供を制御するホストコンピュータと

ネットワークを介し該ホストコンピュータと接続している翻訳サーバとから構成されており、音声認識用辞書、音声合成用辞書、翻訳用辞書の各辞書が携帯端末装置に格納されるのではなく、ネットワークを介し、携帯端末装置からアクセス可能な翻訳サーバに格納されているので、大規模の辞書を格納することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による多国語翻訳システムの全体構成図である。

【図2】 携帯端末装置の構成例を示す図である。

【図3】 翻訳サーバの構成例を示す図である。

【図4】 辞書検索テーブルの一例を示す図である。

【図5】 本発明による多国語翻訳システムの実行例を説明するための図である。

【図6】 携帯端末装置による入出力の実行例を説明するための図である。

【図7】 携帯端末装置による音声入出力の操作パネルの表示例を示す図である。

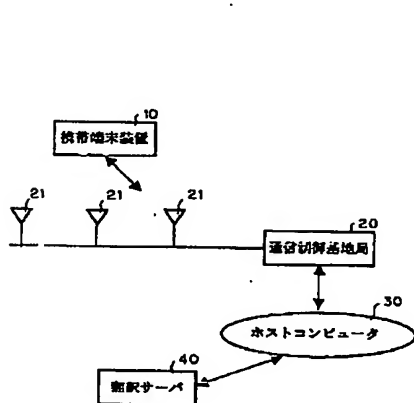
【図8】 携帯端末装置からホストコンピュータに送信するデータの構造例を示す図である。

【図9】 翻訳サーバ側の実行例を示す図である。

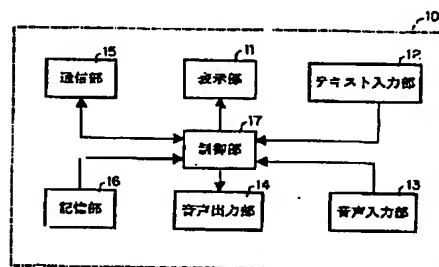
【符号の説明】

10…携帯端末装置、11…表示部、12…テキスト入力部、13…音声入力部、14…音声出力部、15…通信部、16…記憶部、17…制御部、20…通信制御基地局、21…各基地局、30…ホストコンピュータ、40…翻訳サーバ、41…通信部、42…データ格納部、43…制御部。

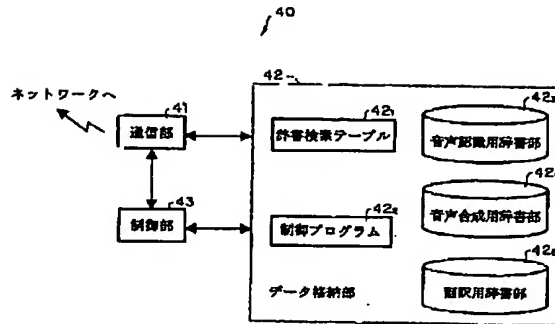
【図1】



【図2】



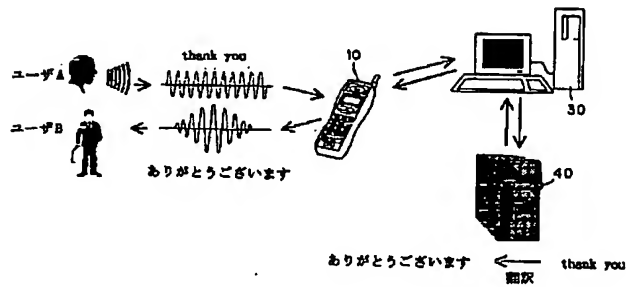
【図3】



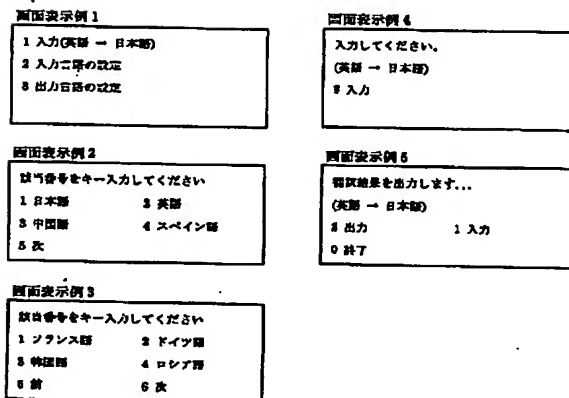
【図4】

辞書識別ID	辞書名	言語
SR	Dic1	Japanese
	Dic2	English
	.	.
	DicN	.
SS	Dic1	Japanese
	Dic2	English
	.	.
	DicN	.
TR	Dic1	Japanese
	Dic2	English
	.	.
	DicN	.

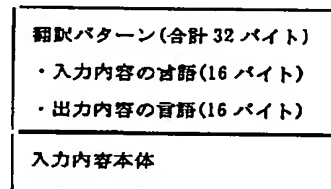
【図5】



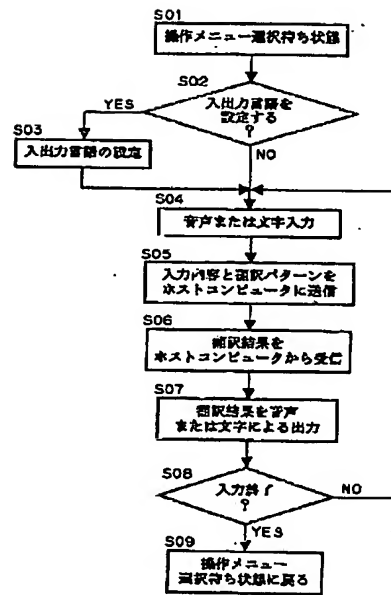
【図7】



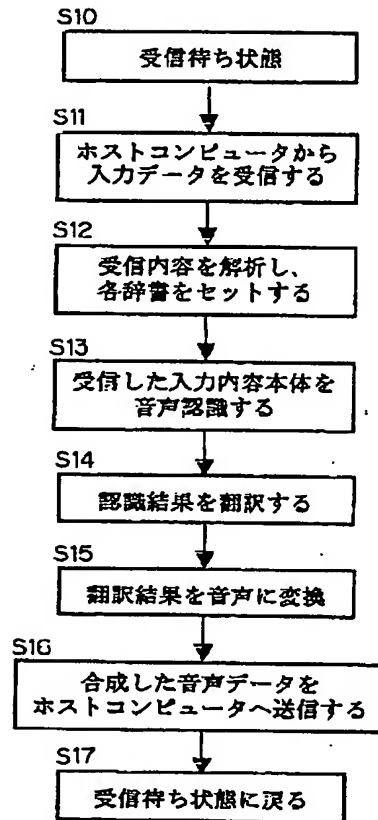
【図8】



【図6】



【図9】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
H04M 3/42
3/527

識別記号

FI
G10L 3/00

H04B 7/26

(参考)

Q 5K067
551C
551A
109H

!(9) 002-245038 (P2002-245038A)

H04Q 7/04

D

Fターム(参考) 5B091 AA01 BA03 BA19 CA21 CB12
CB32 CD04
5D015 AA01 AA05 BB02 KK04
5D045 AA20 AB03
5K015 AA06 AA07 AF02 GA00
5K024 AA71 BB01 BB02 CC11
5K067 AA34 BB04 DD54 EE02 EE10
FF02

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2003-376393	
起案日	平成17年12月26日	
特許庁審査官	西脇 博志	8832 5G00
特許出願人代理人	磯野 道造 様	
適用条文	第29条第2項	

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項：1-6

引用文献：1-3

備考：引用文献1には、電話装置の間に翻訳装置を介在させて会議を行うことが記載されている。そして、引用文献2には、CTI装置に自動翻訳機能を持たせているものが、引用文献3には、音声内容を音声認識して適すと情報にしたものを翻訳しそれを音声合成することが記載されている。

よって、引用文献1に記載のものにおいて、CTI装置で自動翻訳を子ナウとともにその中間過程において一端テキストベースのデータにすることは、当業者ならば容易に想到し得たものである。

請求項：7-9

引用文献：1-3

備考：請求項に係る発明は、請求項1-6に係る「システム」の発明を「方法」と発明の保護を求める形態を変えたものにすぎず、上記と同様の理由により特許を受けることができない。

引用文献等一覧

1. 特開2002-305596号公報（特に、段落15, 20, 24-31, 図1-6）
2. 特開2002-027125号公報（特に、段落9-11, 図1）
3. 特開2002-245038号公報（特に、段落19）

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C第7版 H 0 4 M 3 / 4 2 - 3 / 5 8
- ・先行技術文献 特開2002-044249号公報
 特開2001-292234号公報
 特開平11-017806号公報
 特開2002-091962号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 電話通信 審査官 西脇 博志
TEL. 03 (3581) 1101 内線3524
FAX. 03 (3580) 7035